

広島ベトナム平和友好協会 主催

枯葉剤 60年～改めて問う！エージェント・オレンジ～

2021年8月10日（火）

15:30～ ドキュメンタリー映画「花はどこへ行った」鑑賞

17:30～ グエン・ドクさんと坂田雅子監督のトーク&シンポジウム

会場：くらら「市民ギャラリー」



○ベトナムのドクさん

オンラインで身体の状態やコロナ禍での生活、枯葉剤被害者への支援についてお話されました。双子のお子さんは中学生になり、元気な様子をカメラ越しに見せてくれました。ドクさんは40才を迎え、医者によると残された時間は少ないそうです。枯葉剤被害者のお世話をする人の高齢化が進み、政府からの援助がない状況で課題は多いといいます。

○坂田監督

最愛の夫を亡くして、枯葉剤の映画を撮ることを決意。ベトナムで枯葉剤の被害者を家族に持つ人と出会い、彼らに憎しみはなく、求めているのは具体的な支援であることに気がきます。彼らの支え合って生きている姿に、坂田監督の悲しみや虚しさは次第に温かいものになっていったそうです。

○思うこと

ベトナムのドクさんとドクちゃん。私が枯葉剤の被害を知ったのは2人の存在からでした。枯葉剤が第2, 3, 4世代にまで与える被害の根深さに驚きました。もともと映画監督だったのだらうかと思っていましたが、坂田さんは夫を亡くして全くの素人からドキュメンタリー映画を制作されたそうです。枯葉剤被害を後世へ伝えられる“作品”としての魅力を感じました。コロナ禍でもオンラインを通して、平和への想いを共有できたことは、これからの自分達に何が出来るかを問う為の大切な第一歩になったのではないかと思います。このような機会をいただきありがとうございました。

広島アセアン協会 事務局